

ゴールドマン・サックス(ケイマン諸島)ユニット・トラスト ー
netWIN

GSテクノロジー株式ファンド

ケイマン籍／オープン・エンド契約型外国投資信託

米ドルクラス

販売用資料 | 2025.6

お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

■本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます。))が作成した販売用資料です。投資信託をご購入の際は、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体となっている「目論見書補完書面」の内容を必ずご確認ください。■本ファンドは値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■三井住友銀行でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。■投資信託は、金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。■投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うことになります。■投資信託のご購入、換金にあたって円貨から外貨または外貨から円貨へ転換の際は、為替手数料がかかります。購入時と換金時の適用為替相場には差があるため、為替相場に変動がない場合でも、換金時の円貨額が購入時の円貨額を下回る場合があります。■外国投資信託のお取引にあたっては、外国証券取引口座の開設が必要です。

■ 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込は



株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号
加入協会 / 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

Connect THE FUTURE

それは、ITが変える未来への投資。

外貨建て
netWIN™

ファンドは外国投資信託であり、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社が設定する同じ名称の国内投資信託とは別のファンドです。

※「netWIN」は、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の登録商標です。

■ 管理会社

シーエス(ケイマン)リミテッド

■ 投資顧問会社

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー

■ 代行協会員

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

Connect
THE FUTURE

小売 × テクノロジー

ネットで注文すると、あらゆる商品が 30 分以内で届く。小型無人飛行機(ドローン)を使用した配達サービスが、今実用化に向けて進んでいます。また、レジでの精算なしで買い物ができるサービスなど、テクノロジーの力でショッピングがさらに便利な世の中へと変わります。



ネット注文したら

空から荷物が届く。

そんな未来が進んでいる。



「財布」というモノが

ポケットから消える日が

やってくる。

Connect
THE FUTURE

金融 × テクノロジー

レジでの支払いは、ほんの一瞬、スマートフォンをかざすだけ。テクノロジーの進化で、財布を持ち歩く必要のない時代になりつつあります。友人との食事会では、モバイル送金すれば、現金要らずで精算完了。家計の管理から資産運用の指図まで、お金に関することはすべて、財布なしでも完結できるよう進化します。

テクノロジーの発展で、

Connect
THE FUTURE

自動車 × テクノロジー

行き先を告げるだけで、クルマが自動で目的地まで連れて行ってくれる。自動車メーカーやテクノロジー関連企業が独自に、または協業し、完全自動運転車の開発に邁進しています。テクノロジーは自動運転だけでなく、交通インフラにも革新をもたらし、その先には、事故や渋滞のない世界がきっと待っています。



クルマから

「運転」という概念が、

近い将来なくなる。

指一本で巨大工場を操作。

未来の製造業は

ソフトウェアの塊になる。



Connect
THE FUTURE

製造 × テクノロジー

あらゆる作業が自動化されていく。長時間の単純作業も、危険な現場も、ヒトに代わってロボットが解決してくれる。目の前の機械はもちろん、地球の裏側で稼動する機械ですら、故障する前にその兆候をセンサーが察知し知らせてくれることで、生産効率は大きく上がります。

写真やイラストはイメージとして掲載するものです。

革新的なテクノロジーが
あらゆる産業に変革を
もたらしている。

ロボティクス
Robotics

オンライン
広告
Online AD

Eコマース
E-Commerce

製造

広告

メディテック
MediTech

小売

医療

×
TECHNOLOGY
テクノロジー

金融

自動車

自動運転車
Self-Driving Car

フィンテック
FinTech

農業

教育

エドテック
EdTech

アグリテック
AgriTech

Connect
THE FUTURE

ファンドの運用は、ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. – ゴールドマン・サックス米国テクノロジー・オポチュニティーズ・エクイティ・ポートフォリオ（以下「マスター・ファンド」といいます。）を通じて行います。

特色 1

主にテクノロジーの発展により恩恵を受ける米国企業の大型および中型株式に実質的に投資します。

ソフトウェア・サービス、メディア・エンターテインメント、テレコミュニケーション等の特定のセクター（ただしこれらに限定されるものではありません。）に集中して投資することがあります。

米ドル建ての株式を主要な実質的投資対象としますが、米ドル建て以外の株式に投資を行うことがあります。

特色 2

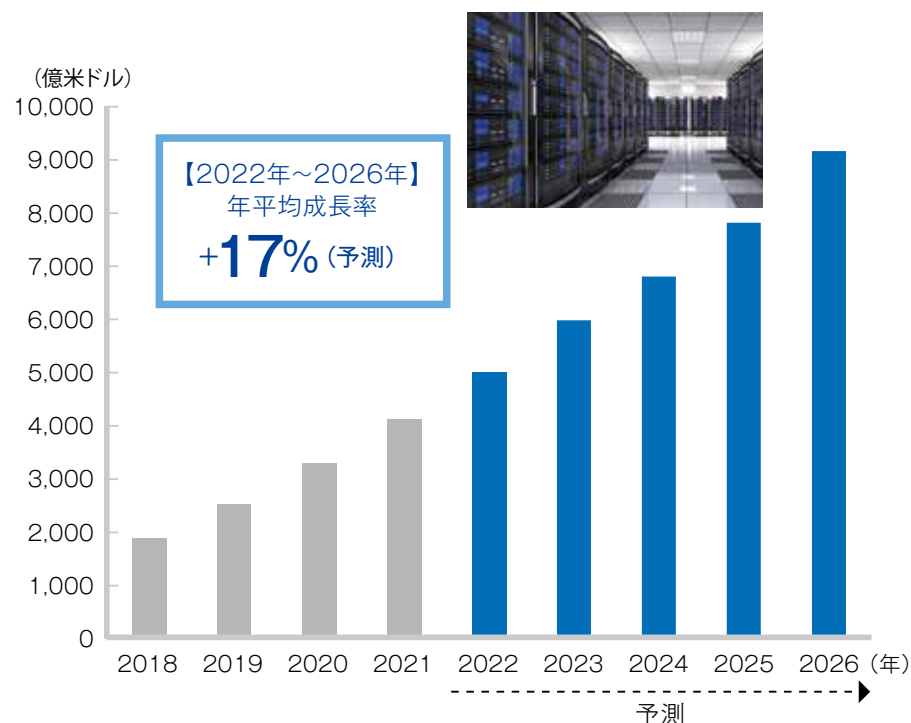
「よりよい投資収益は、長期にわたって成長性の高い事業へ投資することにより獲得される」との投資哲学のもと、個別銘柄の分析を重視したボトムアップ手法により銘柄選択を行います。

*ファンドの特色の記載は交付目論見書と一部異なります。

市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

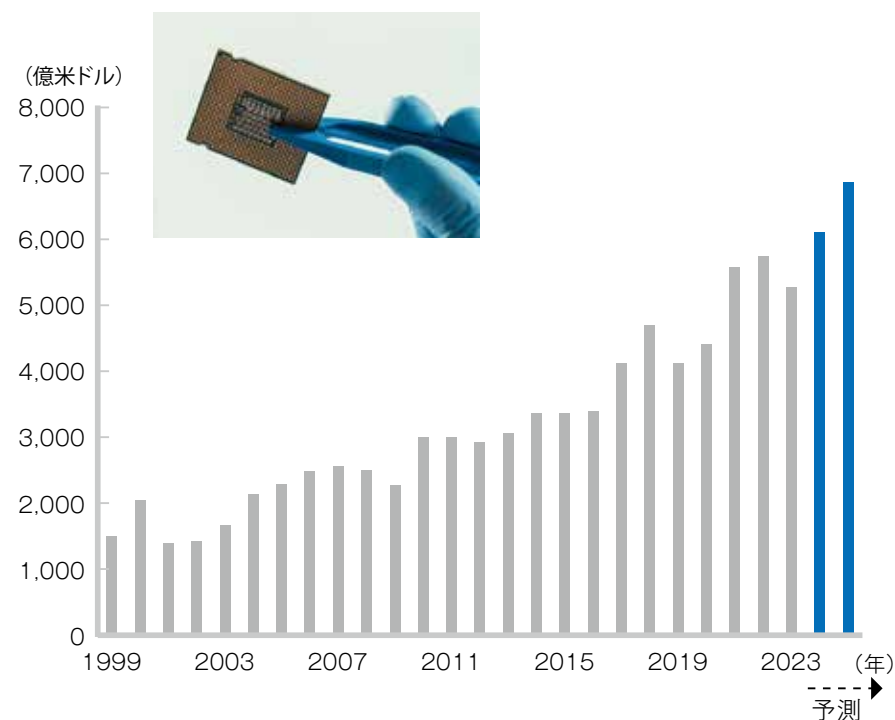
- ▶ 足元ではAI（人工知能）の投資機会に注目しており、それを支えるインフラとなるクラウド・コンピューティングや半導体についても有望であるとみています。
- ▶ クラウド・コンピューティングは、膨大なデジタルデータをネットワーク上に蓄積・保管し、スピーディに処理することを可能にするものであり、世界的な「所有から利用へ」という流れのなかで利用が加速しています。
- ▶ 半導体はテクノロジーの革新を根幹から支えるものであり、クラウド・コンピューティング含め、あらゆる産業において不可欠な存在です。

クラウドサービスの世界市場規模の推移



期間：2018年～2026年（2022年以降は2023年時点のOmdia（英国の調査会社）の予測値）
出所：総務省「令和5年版情報通信白書」

世界の半導体市場規模の推移



期間：1999年～2025年（2024年以降は2024年6月時点の予測値）
出所：WSTS（世界半導体市場統計）

上記は経済や市場等の過去のデータおよび一時点における予測値であり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。
経済、市場等に関する予測は資料作成時点のものであり、情報提供を目的とするものです。予測値の達成を保証するものではありません。写真やイラストはイメージとして掲載するものです。

① マイクロソフト

AI関連サービスも展開する大手ソフトウェア企業

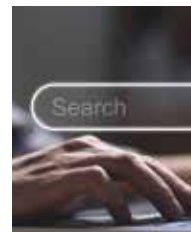
- ▶ PC向けのWindows OSや業務用ソフトのOfficeで高い市場シェアを誇る世界最大級のソフトウェア企業。
- ▶ 近年、クラウド事業の拡大に加えて、AI研究の最前線に立ち、強力で先進的なAIテクノロジーを自社製品・サービスに統合することに注力している。



② アルファベット

グーグルを傘下を持つ巨大テクノロジー企業

- ▶ サーチエンジンのGoogleや動画共有プラットフォームであるYouTubeなどにおけるオンライン広告を主たる収益源とする企業。
- ▶ クラウド事業が新しい収益源として成長するなか、AI開発も積極的に行うことでさらなる収益の拡大をめざす。



③ アップル

スマートフォン市場最大手の一角

- ▶ iPhoneを主力として、パソコン、タブレット、その他アクセサリの提供を行う。
- ▶ デバイス以外にも、クラウド、決済、ストリーミングサービス等も提供しており、事業領域は多岐にわたる。



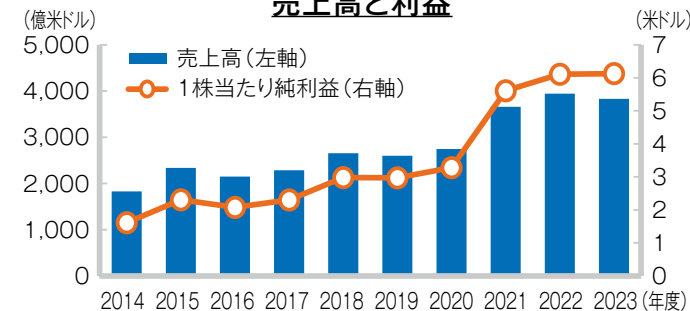
売上高と利益



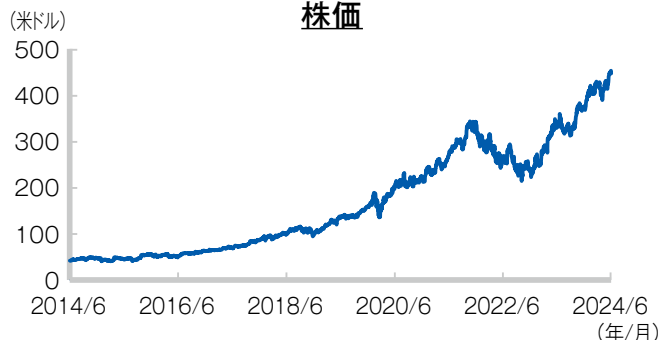
売上高と利益



売上高と利益



株価



株価



株価



【売上高と利益】期間：マイクロソフトは2014年度～2023年度（決算期6月）、アルファベットは2014年度～2023年度（決算期12月）、アップルは2014年度～2023年度（決算期9月）、【株価】すべて期間：2014年6月30日～2024年6月28日、出所：ブルームバーグ

上記の銘柄は2024年6月末時点のマスター・ファンド（ゴールドマン・サックス・ファンズS.I.C.A.V. -ゴールドマン・サックス米国テクノロジー・オポチュニティーズ・エクイティ・ポートフォリオ）の組入上位1位から3位の銘柄。上記は経済や市場等の過去のデータであり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。ポートフォリオにおける保有銘柄あるいは過去の投資判断についての言及は、本資料で紹介している投資戦略あるいは投資アプローチをご理解いただくための例示を目的とするものであり、投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。例示された個別証券は、必ずしも現在あるいは将来の保有銘柄であるとは限らず、また当該投資戦略に関する投資判断を代表するものでもありません。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、当該個別銘柄の売却、購入または継続保有の推奨を目的とするものではありません。本資料において言及された証券について、将来の投資判断が必ずしも利益をもたらすとは限らず、また言及された証券のパフォーマンスと同様の投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。写真やイラストはイメージとして掲載するものです。

④ エヌビディア

AIなどの先端テクノロジーを支える半導体企業

- ▶ 画像処理に特化した半導体や関連ソフトウェアの開発を主力とする企業。PCやゲームなどに向けた画像処理の半導体の製造により成長してきた。
- ▶ 近年ではAIなど先端のテクノロジーの発展を支える役割を担っている。



⑤ アマゾン・ドット・コム

Eコマースの巨人の顔とクラウド大手の顔

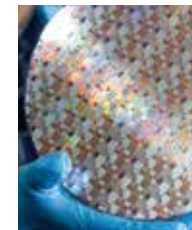
- ▶ Eコマース市場において巨大なシェアを有する米国企業。
- ▶ 利益率が高く、成長ペースが速いクラウド事業も第2の柱として多大な成長余地があると考えられる。



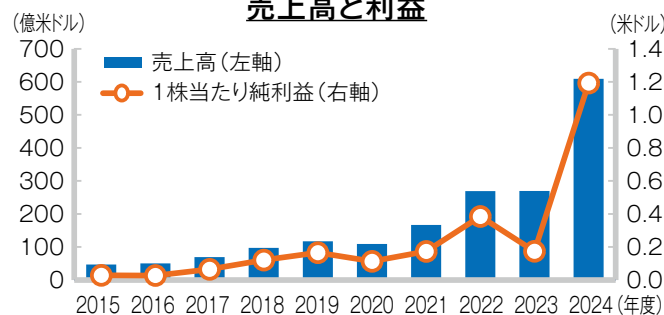
⑥ マーベル・テクノロジー

AI浸透の恩恵が期待される半導体企業

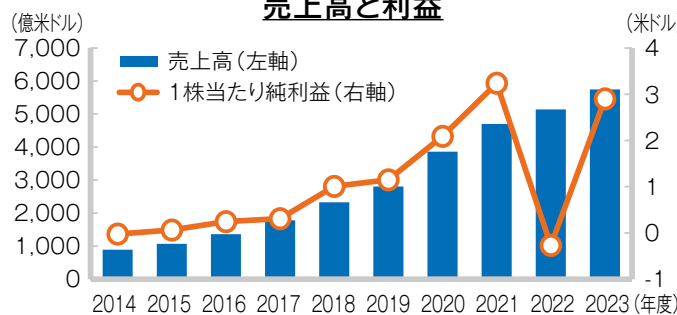
- ▶ 1995年に設立された米国の半導体メーカー。
- ▶ 足元でAIの利用が広がるなか、AIを支えるインフラであるデータセンター向けの半導体売上高は急拡大している。



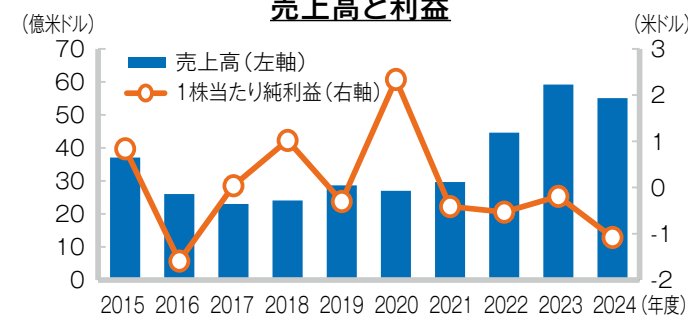
売上高と利益



売上高と利益



売上高と利益



株価



株価



株価



【売上高と利益】期間：エヌビディアは2015年度～2024年度（決算期1月）、アマゾン・ドット・コムは2014年度～2023年度（決算期12月）、マーベル・テクノロジーは2015年度～2024年度（決算期1月）、【株価】すべて期間：2014年6月30日～2024年6月28日、出所：ブルームバーグ

上記の銘柄は2024年6月末時点のマスター・ファンド（ゴールドマン・サックス・ファンズS.I.C.A.V. -ゴールドマン・サックス米国テクノロジー・オポチュニティーズ・エクイティ・ポートフォリオ）の組入上位4位から6位の銘柄。上記は経済や市場等の過去のデータであり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。ポートフォリオにおける保有銘柄あるいは過去の投資判断についての言及は、本資料でご紹介している投資戦略あるいは投資アプローチをご理解いただくための例示を目的とするものであり、投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。例示された個別証券は、必ずしも現在あるいは将来の保有銘柄であるとは限らず、また当該投資戦略に関する投資判断を代表するものでもありません。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、当該個別銘柄の売却、購入または継続保有の推奨を目的とするものではありません。本資料において言及された証券について、将来の投資判断が必ずしも利益をもたらすとは限らず、また言及された証券のパフォーマンスと同様の投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。写真やイラストはイメージとして掲載するものです。

▶ 銘柄選択のポイント

主に米国を中心とした「テクノロジー・トルキーパー」企業など、テクノロジーを活用することで、コスト構造、収益性、競争優位性の改善や維持が期待できる企業や、ビジネス・モデルの継続性が期待できる企業の株式に実質的に投資します。

「テクノロジー・トルキーパー」企業

ファンドでは、テクノロジー業界において、高速道路などの「料金所」のように「交通量」（＝売上げ数量）の増加や「通行料」（＝価格）の値上げによって収益を上げることのできる企業を「テクノロジー・トルキーパー」企業と呼びます。



「テクノロジー・トルキーパー」企業のイメージ

✕ 高速道路の建設業者

- ・収益機会は建設時の一度きり
- ・交通量が増えても恩恵を受けない

ではなく

○ 高速道路の料金所

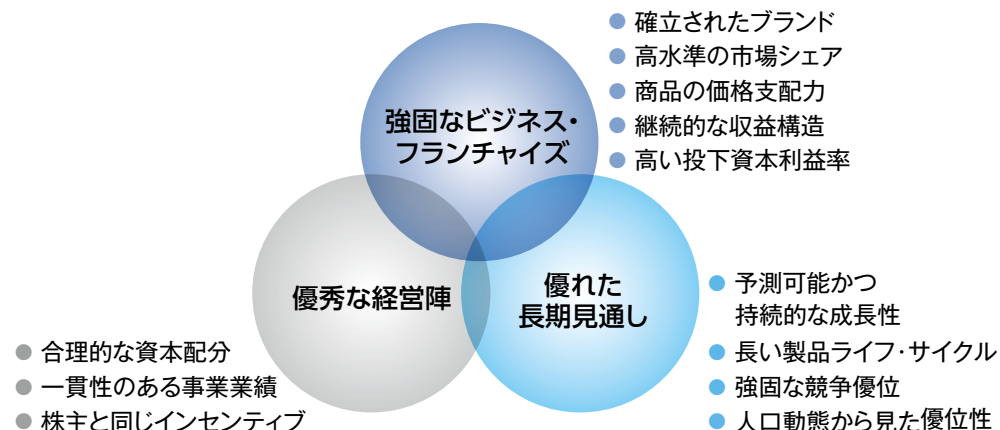
- ・通行料という継続的な収入源
- ・交通量が増えれば収入増

上記はイメージです。

※「テクノロジー・トルキーパー」はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の登録商標です。

銘柄選択のポイント

持続可能かつ継続的な収益拡大が見込める企業に着目して銘柄選択を行います。



上記は、持続可能かつ継続的な収益拡大が見込める企業についての一般的な特徴をまとめたものであり、必ずしもすべての組入銘柄にあてはまるものではありません。

▶ 運用会社の紹介

約150年の歴史を誇る
ゴールドマン・サックスの資産運用部門

**GOLDMAN
SACHS
ASSET
MANAGEMENT**

数字で見るゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント



受託資産残高 約 **360** 兆円



グローバル
ビジネス拠点 世界主要都市に
約 **60** 拠点



社員数 約 **2,500** 人

2023年12月末現在。受託資産残高は1米ドル＝140.980円で円換算（出所：WMロイター）。

▶ 本ファンドの1口当たり純資産価格の推移

米ドルクラス



期間：2020年10月30日(設定日)～2024年6月28日、日次ベース

出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

過去の運用実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

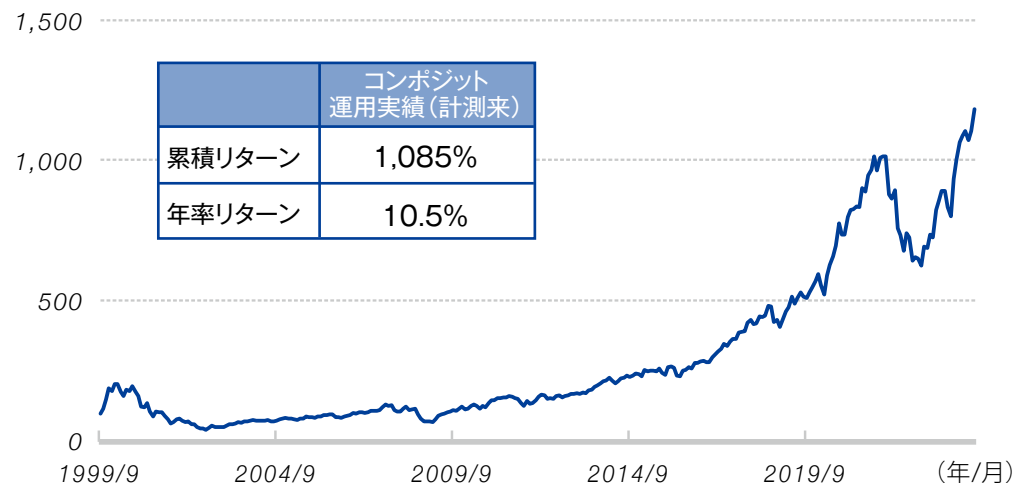
1口当たり純資産価格は管理報酬等費用控除後のものです。

▶ <ご参考> 米国株式運用チームの運用実績

- 本ファンドの運用は、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの米国株式運用チームが行います。
- 以下は、米国株式運用チームが運用する本ファンドと同戦略のコンポジット*のパフォーマンスです。ITバブル崩壊や世界金融危機など、さまざまな下落局面を経験しながらも、20年超にわたる優れた運用実績を残しています。

本ファンドと同戦略のコンポジットの 計測来パフォーマンス(費用控除前、米ドル・ベース)

下記は米国株式運用チームが運用する本ファンドと同戦略のコンポジットの過去の運用実績をご参考までに紹介するものであり、本ファンドの運用実績ではありません。また、本ファンドの将来の運用成果を示唆あるいは保証するものでもありません。



期間：1999年9月末～2024年6月末、1999年9月末を100として指数化、月次ベース

出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

*コンポジットとは、類似の投資戦略ないし投資方針に基づいて運用される1つ以上のポートフォリオの運用実績を、一定の基準に従って総合的に評価したものであり、投資戦略ごとの運用実績を提示するための基本的な手段です。上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。上記はコンポジットのデータであり、本ファンドの実績ではありません。また、手数料等の費用や流動性等の市場要因は考慮されておりませんのでご注意ください。上記は本ファンドの運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

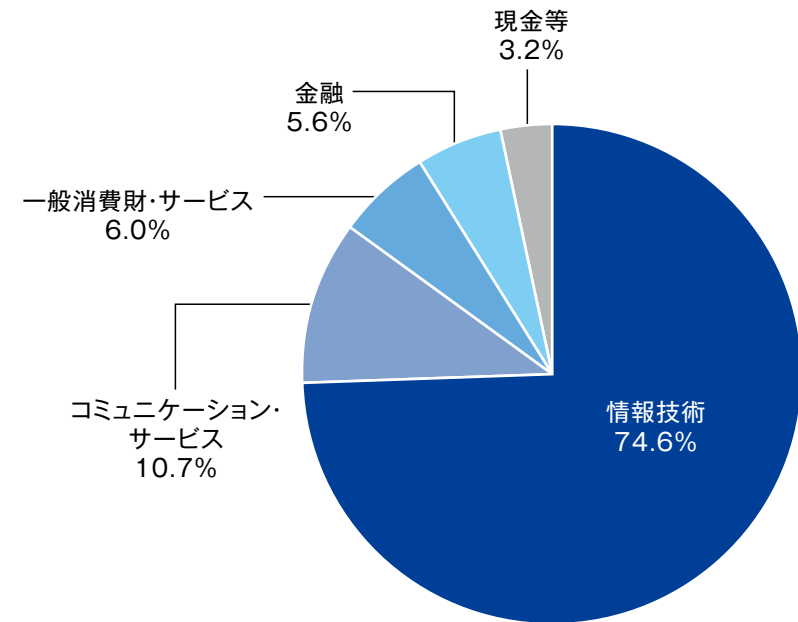
▶ マスターファンド*のポートフォリオ概要

▶ 現在の組入銘柄（上位10銘柄）

銘柄名	事業内容	比率
1 マイクロソフト	ソフトウェア/ クラウド・コンピューティング	9.5%
2 アルファベット	インターネット関連全般/ クラウド・コンピューティング	9.5%
3 アップル	モバイル端末	9.5%
4 エヌビディア	半導体	8.9%
5 アマゾン・ドット・コム	Eコマース/ クラウド・コンピューティング	4.9%
6 マーベル・テクノロジー	半導体	4.2%
7 KLAコーポレーション	半導体製造装置	3.6%
8 テキサス・インスツルメンツ	半導体	3.5%
9 セールスフォース	ソフトウェア	3.2%
10 アドビ	ソフトウェア	3.0%

合計:30銘柄

▶ 業種（セクター）別構成比率



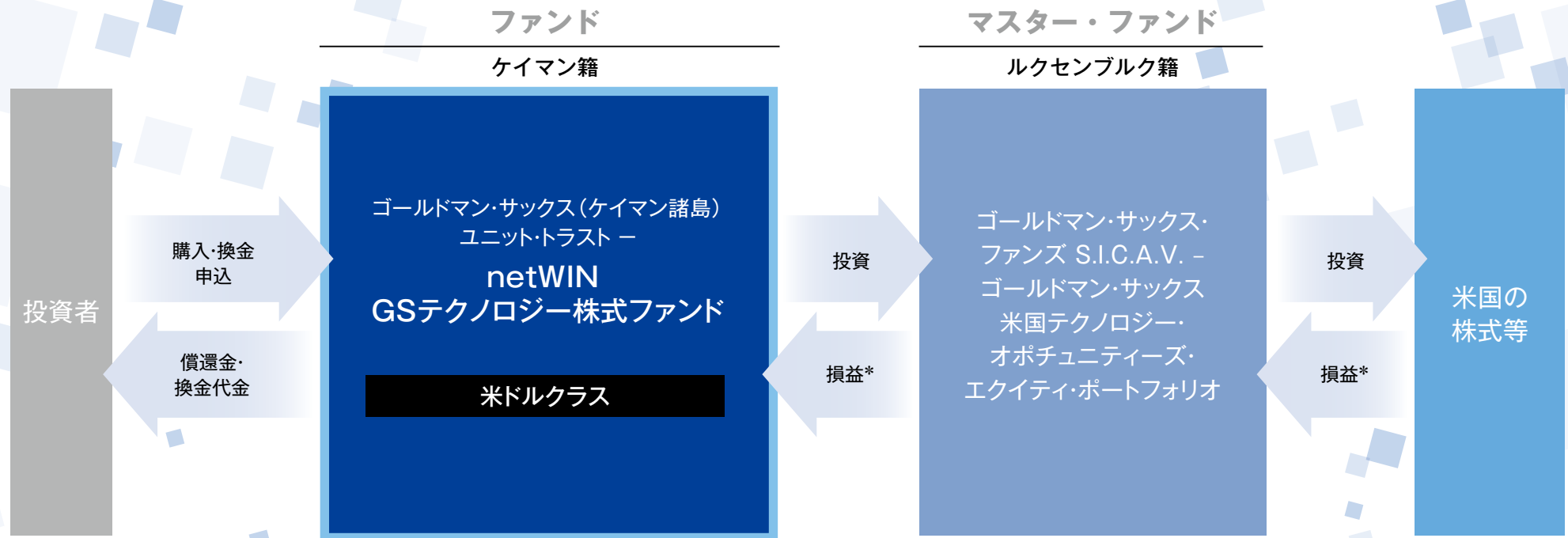
*ゴールドマン・サックス・ファンズS.I.C.A.V. -ゴールドマン・サックス米国テクノロジー・オポチュニティーズ・エクイティ・ポートフォリオ

2024年6月末現在 出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

比率は対純資産総額比です。業種（セクター）は、Global Industry Classification Standard (GICS®)（世界産業分類基準）のセクター分類を使用しています。

上記は経済や市場等の過去のデータであり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。ポートフォリオにおける保有銘柄あるいは過去の投資判断についての言及は、本資料でご紹介している投資戦略あるいは投資アプローチをご理解いただくための例示を目的とするものであり、投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。例示された個別証券は、必ずしも現在あるいは将来の保有銘柄であるとは限らず、また当該投資戦略に関する投資判断を代表するものでもありません。

▶ ファンドの仕組み



*損益はすべて投資家である受益者に帰属します。

投資信託は預貯金と異なります。ファンドは、マスター・ファンドへの投資を通じて、主に米国企業の株式に投資しますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、ファンドの純資産価格が下落し、損失を被ることがあります。また、ファンドの純資産価格は外貨建てで算出されるため、当該通貨建てでは投資元本を割り込んでいない場合でも、為替変動により、円換算ベースでは投資元本を割り込むことによる損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、ファンドの純資産価格の下落や為替相場の変動により、投資元金が割り込み損失を被ることがあります。運用による損益はすべて投資家の皆さまに帰属します。

▶ リスク要因

価格変動リスク

ファンドへの投資には、株式の価格変動等の様々なリスクが伴います。ファンドは、金利動向、一般的な経済状況、金融市場の状況、特定業種の動向や傾向、発行体の財務状況、需給関係の変動、取引・財務・金融および為替に関わる規制および政府の方針、ならびに国内外の政治的・経済的事由および方針の影響を受けます。株価の下落、発行体の破綻や財務状況の悪化等の市場環境により、ファンドの純資産価格が下落し、投資元金が割り込み損失を被ることがあります。

集中投資リスク

ファンドは、一定の業種に対して大きな比重をおいて投資を行いますので、業種をより分散した場合と比較して、ボラティリティが高く大きなリスクがあると考えられます。特にテクノロジー関連企業等の株式の下降局面ではファンドの純資産価格はより大きく下落する可能性が大きいと考えられます。

為替変動リスク

外貨建てのクラスの場合、各表示通貨では投資元本を割り込んでいない場合でも、為替変動により、円換算ベースでは投資元本を割り込むことによる損失を被ることがあります。ファンドにおいて米ドル建て以外の外貨建資産を実質的に保有する場合、当該通貨と米ドルとの間の為替変動の影響を受けます。

▶ お申込メモ（三井住友銀行でお申込の場合）

くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

▶ ファンド概要

ファンド名	ゴールドマン・サックス（ケイマン諸島）ユニット・トラストー netWIN GSテクノロジー株式ファンド 米ドルクラス
ファンド形態	ケイマン籍 オープン・エンド契約型外国投資信託
設定日	2020年10月30日
信託期間	原則として2030年10月31日まで。 ただし、受託会社および管理会社は、投資顧問会社と協議の上、書面により宣言することをもって信託期間を延長する場合があります。また、ファンドは、2030年10月31日以前に終了することがあります。くわしくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。
ファンド営業日	ロンドン、ニューヨーク、ルクセンブルクおよび東京の銀行の営業日ならびにロンドン証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびルクセンブルク証券取引所の営業日または管理会社（またはその委託を受けた者）が投資顧問会社と協議の上、定める日（土曜日、日曜日および12月24日を除きます。）をいいます。
取引日	米ドルクラスについては、ファンド営業日。
収益分配	分配を行う予定はありません。

▶ 購入

購入価格	購入申込が受け付けられた取引日の1口当たり純資産価格
購入単位	100口以上1口単位

▶ 換金（買戻し）

換金単位	1口以上1口単位
換金価格	換金（買戻し）請求が受け付けられた取引日の1口当たり純資産価格
お支払日	原則として換金申込日から起算して8営業日目からお支払いいたします。

▶ 管理会社、その他関係法人

管理会社：シーエス（ケイマン）リミテッド
 投資顧問会社：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー
 副投資顧問会社：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル
 ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
 受託会社：ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド
 保管会社および管理事務代行会社：ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・カンパニー
 登録・名義書換事務代行会社：CACEISバンク、ルクセンブルク支店
 受益者サービス代行会社：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル
 代行協会員：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
 販売会社：株式会社三井住友銀行

*お申込メモの記載は交付目論見書と一部異なります。

お客さまの費用

▶ 購入時の費用

購入時手数料	下記の手数料率をご購入金額（ご購入価格（1口当たり）×ご購入口数）に乗じて得た額 10万口未満 3.300%（税抜3.00%） 10万口以上50万口未満 1.650%（税抜1.50%） 50万口以上100万口未満 0.825%（税抜0.75%） 100万口以上 0.550%（税抜0.50%） ※別に定める場合はこの限りではありません。
--------	---

▶ 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

運用管理費用（管理報酬等）	純資産総額に対して 1.63%（年率）および年間74,750米ドルを上限とした運用管理費用
	管理報酬 年間37,500米ドルの固定報酬および年間17,250米ドルを上限とした変動報酬
	投資顧問報酬 純資産総額に対して年率0.80%
	販売会社報酬 純資産総額に対して年率0.80%
	代行協会員報酬 純資産総額に対して年率0.03%
その他の費用・手数料	受益者サービス報酬 純資産総額に対して年率0.05%または年間20,000米ドルのいずれか低い方を上限とします。
	受託報酬、管理事務代行および保管報酬、登録・名義書換事務代行報酬がファンドから支払われるほか、設立費用、監査費用、弁護士費用、印刷費用、有価証券売買時の売買委託手数料、保管費用等の実費を間接的にご負担いただきます。受託報酬、管理事務代行および保管報酬、登録・名義書換事務代行報酬は、資産総額に基づき、信託証書での規定または当事者間の合意により通知なくして随時変更されるため、その上限額等を表示することができません。ファンドが投資するマスター・ファンドの投資証券に関して、運用報酬または販売手数料は課されません。マスター・ファンドの運営費用は、原則としてマスター・ファンドの資産から支払われるため、ファンドは、マスター・ファンドの投資者として、当該費用を比例按分で負担します。上記その他の費用・手数料は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を表示することができません。

▶ 換金時の費用

換金手数料	なし
信託財産留保額	なし

※上記の手数料等の合計額については、投資家の皆さまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

▶ 為替に関する留意点

ファンドの購入・換金にあたり、円貨と外貨を交換する際には、販売会社の決定する為替レートによるものとします。くわしくは、販売会社にご確認ください。

▶ 税金

換金代金、償還金には税金（課税対象の場合）がかかります。本ファンドは、税法上、公募外国株式投資信託として取り扱われます。

